

食を核とした地域活性化支援事業

【200百万円】

対策のポイント

地域の資源である「食」を核とした地域興しの取組を支援することにより、地域経済を活性化します。

<背景/課題>

- ・景気の停滞等により地域経済は疲弊しており、大都市圏との格差もますます拡大しています。
- ・このような中で、地域を活性化するには、それぞれの地域の特色ある資源を活用し、地域が一体となって取り組むことが、効果的で速攻性があります。
- ・この場合、ご当地グルメ等に見られるとおり、地域の資源である「食」を活用した取組や、販売施設（道の駅等）・滞在型集客施設等と連携して商品やメニュー開発を行う取組など、「食」を核とするとともに、単に一次産業の振興のみならず地域が一体となった地域興しのような発信力のある取組が効果的であり、大きな経済効果が期待できます。

政策目標

3年後の売上高を20%増加、観光客数の増加及びそれに伴う経済波及効果

<内容>

1. 関係者の枠組構築

地域が一体となった地域興しの取組を行うため、農林水産業、食品産業、観光等幅広い関係者が参画した推進体制を構築するための合意形成に向けた取組を支援します。

2. 事業戦略の策定・ブラッシュアップ

1の取組の目標や工程表の作成とともに、戦略的商品の選定、開発計画の策定等の取組を支援します。

3. 商品・メニュー開発

国産農林水産物を活用し、需要に即した新商品・メニューの開発に必要な試作、パッケージデザイン設計等の取組を支援します。

4. 販路拡大を核とした地域の取組

国産農林水産物を活用し開発された新商品の販路拡大を核とした地域の交流の場の提供を支援します。

注) 1～4の取組を一体的に行うことを基本としますが、1や2の取組が進んでいるものについては、3及び4の取組のみを行うことができます。

（補助率：定額
事業実施主体：民間団体）

（お問い合わせ先：
総合食料局食品産業企画課（03-6744-2063（直））